

2025年度版

学位申請の手引

(博士前期課程)

筑波大学

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群

情報学学位プログラム

2025年4月

情報学学位プログラム博士前期課程修了者にかかる学位論文審査日程

2025年9月修了	2026年3月修了	事項	審議 会議	審 査 委 員 会	提出物等
2024年12月5日(木)	2025年7月17日(木)	学位論文中間発表会			・プログラムは1週間前頃に周知予定。
12月頃(別途連絡)	8月頃(別途連絡)	コンピテンス評価表をmanabalに提出			【manabalにコンピテンス評価表を提出】 コンピテンス評価表(「中間発表時」まで記入されたもの)をmanabaのコンピテンス評価表コースに提出する。
2025年4月21日(月)9:00- 2025年4月23日(水)12:00	2025年11月17日(月)9:00- 2025年11月19日(水)12:00	学位論文題目届のPDF等をmanabalに提出			【manabalに学位論文題目届のPDFを提出】 ・押印をしたうえで、スキャンしてデータを取り込み、PDFをmanabalに提出 ・題目は、論文本体の言語に合わせること 【manabalに学位論文題目を登録】 ・登録する題目は、題目届と完全に一致させる
5月頃(別途連絡)	12月頃(別途連絡)	コンピテンス評価表をmanabalに提出			【manabalにコンピテンス評価表を提出】 コンピテンス評価表(すべて記入されたもの)をmanabaのコンピテンス評価表コースに提出する。論文提出用のコースとは異なる点に注意。
2025年6月2日(月)9:00- 2025年6月4日(水)12:00	2025年12月15日(月)9:00- 2025年12月19日(金)12:00	学位論文のPDF等をmanabalに提出			【manabalにPDFを提出】 ①学位論文審査願 ②学位論文 ③学位論文概要 ④論文目録 ⑤履歴書 ⑥論文公正に関する確認書 ⑦iThenticateの出力画面のスクリーンショット (論文の表紙と合計のパーセンテージが表示されている画面) ⑧倫理審査に関する報告書 ⑨承諾書(必要な場合のみ提出。詳細は手引きを参照) ⑩学位論文の電子図書館システム(つくりポジトリ)登録書 ・①、④は押印を、⑤、⑥、⑧、⑨、⑩は署名をしたうえでスキャンしてデータを取り込み、PDFにする 【manabalに学位論文題目を登録】 ・先に登録した学位論文題目を変更することができる(先に登録した学位論文題目に変更がない場合も、改めて登録する) ・登録する学位論文題目は、論文PDFの題目と完全に一致させる ・題目の和訳または英訳も別途登録する
2025年6月19日(木)	2026年1月15日(木)	学位論文最終発表会		学位論文審査委員会	プログラムは1週間前頃に周知予定。 現地開催の場合、社会人特別選抜で入学した学生は発表場所として春日または東京のいずれかを選択可。
2025年6月30日(月) 9:00-17:00	2026年1月26日(月) 9:00-17:00	(審査委員会で指摘された場合のみ)学位論文題目変更届のPDFおよび修正論文題目をmanabalに提出・登録			論文審査委員会に指摘された場合のみ、学位論文題目変更届を提出し、manabalに修正論文題目を登録する。あわせて、題目を修正した学位論文の電子図書館システム(つくりポジトリ)登録書も再提出する。 * 題目の変更はつくりポジトリには反映されるが、正式な修士論文の題目としては反映されない
2025年6月20日(金)9:00- 2025年7月2日(水)17:00	2026年1月16日(金)9:00- 2026年1月28日(水)17:00	学位論文及び概要の修正			論文審査委員会からの指摘に基づいて学位論文と概要の修正を行い、指導教員からの確認を受け、manabalにPDFを提出する。論文審査委員会主査が必要と判断した場合は、論文の修正に合わせ、以下の書類を再度提出する。(詳細は手引きを参照すること) ・論文公正に関する確認書 ・倫理審査に関する報告書
2025年7月25日(金)	2026年2月20日(金)	学位論文審査結果の審議及び課程修了認定	学術院運営委員会		
2025年9月25日(木)	2026年3月25日(水)	学位記授与式			
2026年9月	2027年3月	つくりポジトリで公開			

2026年9月修了	2027年3月修了	事項	審議 会議	審 査 委 員 会	提出物等
2025年12月4日(木)	-	学位論文中間発表会			・プログラムは1週間前頃に周知予定。

学位申請の手引

(情報学学位プログラム博士前期課程)

学位論文の審査（最終試験等を含む。以下「論文審査等」という。）の申請をする場合は、この手引に従って手続きを行う。虚偽の申請・盗用などが発覚した場合、学位授与前であれば論文審査等の中止、学位授与後であれば学位・修了取り消しとなることがある。虚偽・盗用ともに懲戒処分の対象となる。

1 修士の学位

(1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

筑波大学大学院学則及び関係規則に規定する博士前期課程の修了の要件を充足した上で、定められた知識・能力を有することが最終試験において認められた者に、修士（情報学）の学位を授与する。

(2) 論文審査等の申請要件

情報学学位プログラム博士前期課程（以下「本博士前期課程」という。）に在学中の学生は、論文審査等を受けるために、次の要件をすべて満たしていなければならない。

- 1) 本博士前期課程に2年以上在学した者又は在学見込みの者（早期修了の適用を受けた者は1年在学見込みの者）
- 2) 博士前期課程の所定の科目について30単位以上修得した者又は修得見込みの者
- 3) 研究指導教員から研究指導を受け、中間発表を行い、学位論文の審査の申請について主研究指導教員から承諾を得ている者
- 4) 指導教員によるコンピテンス達成又は達成見込みの確認を受けた者
- 5) 学位論文題目届（情一修1）を提出した者
- 6) eAPRIN等の受講を完了した者

* 中間発表の実施要件

1. 入学後1年以上経過していること。
2. INFOSSとeAPRINの受講を完了していること。

* 早期修了の適用

優れた研究業績を上げた者は、1年で早期修了が可能である。早期修了を希望する者は、入学前に大学院教務と研究指導教員に申し出る。研究指導教員から承諾を得たら、春Aモジュール開始科目（10月入学者の場合は秋Aモジュール開始科目）の履修登録期限1週間以内に「早期修了希望の届出書」を大学院教務へ提出する。その後、学術院において早期修了適用の可否を判断する。

所定の期限までに中間発表、論文の採択、論文審査の申請等が行われなかった場合、通常の修了プロセスに移行する。

(3) 学位論文審査の申請

論文審査等を受けようとする者は、次に掲げる書類を添えて、指定された提出日に人間総合科学学術院長に審査を願い出る。

なお、学位論文の作成に当たっては、4ページ以降の「学位論文等の作成要領」に従う。

- ①学位論文審査願（情一修2）
- ②学位論文及び学位論文概要
- ③論文目録（情一修3）
- ④履歴書（情一修4）
- ⑤論文公正に関する確認書（情一修5または情一修5英）
- ⑥iThenticate の出力
*論文の標題紙と合計のパーセンテージが表示されているページ
- ⑦倫理審査に関する報告書（情一修6）
- ⑧承諾書（情一修7又は情一修7英） *必要な場合
- ⑨学位論文の電子図書館システム(つくばリポジトリ)登録書
- ⑩コンピテンス評価表 *別途 manaba のコンピテンス評価表のコースに提出する

(4) 学位論文の基本的要件

- 1) 学位論文は単著とし、日本語または英語で書かれたものであること。
- 2) 学位申請者が独自に行った研究に基づき、学術的な結論が示された論文であること。
- 3) 共著論文をもとに学位論文を執筆した場合は、申請者の寄与部分を用いたものであること。ここでいう「共著論文」とは、査読制度の有無に関わらず、主たる著者として雑誌等に掲載または掲載予定（投稿中も含む）の論文である。共著論文を用いて学位論文の一部を執筆する場合は、承諾書（情一修7又は情一修7英）により共著者全員から使用許諾をとること。

(5) 学位論文の評価項目

- 1) 研究テーマの意義
- 2) 先行研究の把握と理解
- 3) 研究方法の妥当性
- 4) 結論とそれに至る論理の妥当性
- 5) 体裁・構成の適切さ
- 6) 文献・資料の適切な引用

(6) 学位審査の方法

学位論文審査委員会が、論文の内容、公開の学位論文発表会の内容、最終試験を総合的に審査する。

- 1) 学位論文ごとに設置される学位論文審査委員会は、主副研究指導教員を含む博士前期課程担当教員の3人以上で構成される。
- 2) 学位論文発表会は公開で行い、質疑応答を含めて30分程度とする。
- 3) 最終試験は、学位論文を中心に、口述試験又は筆記試験により行う。ただし、公開の学位論文発表会をもって、口述試験に代えることができる。

(7) 学位授与

修士の学位は、本博士前期課程に2年以上（早期修了の適用を受けた者は1年）在学し、修了要件の科目について30単位以上修得し、かつ、論文審査等に合格した者に授与する。

(8) 学位論文および概要の公表

学位を授与された者の学位論文は、学位授与の1年後に「つくばリポジトリ」で公表される。

2 注意

(1) 論文公正に関する確認書について

学位申請者は、研究倫理に関する教育を受講したこと、剽窃等の不正行為が無いことを確認する。また、主研究指導教員の監督のもとで、論文剽窃チェックツール「iThenticate」による確認も行い、「論文公正に関する確認書」に学位申請者が署名して提出する。

「iThenticate」は、主研究指導教員が実施するため、余裕をもって依頼すること。

(2) 論文の修正について

提出後に学位論文の修正を行う場合は、学位論文審査委員会の指摘に基づき、研究指導教員の指導・確認をうけて修正し、所定の期限までに再提出する。

修正後に再度、論文剽窃チェックツール「iThenticate」により確認し、「論文公正に関する確認書」を再提出する。（誤字等の軽微な変更の場合は再提出を要さない。再提出の必要性は、学位論文審査委員会主査が判断する。）また、一部の調査・実験結果を除くなどの修正によって「倫理審査に関する報告書」の修正も必要になった場合には、「倫理審査に関する報告書」を再提出する。（再提出の必要性は、学位論文審査委員会主査が判断する。）

学位論文等の作成要領

論文審査等を願ひ出る者は、この作成要領に従って書類を作成する。

1 学位論文

1) 学位論文は、A4縦判とし、使用言語は日本語又は英語とする。

2) 学位論文の構成

学位論文は以下の構成とする（*は無くともよい）：

- ① 標題紙：標題紙の記載事項及び記載方法は、後述の「標題紙の作成要領」に従う。
- ② 学位論文概要
- ③ 目次
- ④ 図表の目次*
- ⑤ 本論（結論を含む）
- ⑥ 謝辞*
- ⑦ 文献リスト
- ⑧ 付録*

3) 倫理審査の承認を受けた内容を学位論文に含める場合は、本論の脚注等で承認を受けている旨を明記する。

（記載例）

～に関する利用者実験

脚注 {筑波大学図書館情報メディア系倫理審査通知（承認）番号 第 xx-xx}

2 学位論文概要

学位論文概要は、後述の「学位論文概要の作成要領」に従う。なお、概要内では引用しない。

・論文が日本語の場合：

概要には日本語題目と英語題目を書く。

氏名はTWINSに登録されている表記をアルファベットの表記とともに書く。

概要本文は日本語で書く。英語による概要本文もつけてよいが、英語のみは不可。

・論文が英語の場合：

概要には英語題目を書く。

氏名はTWINSに登録されているアルファベットの表記を書く。

概要本文は英語で書く。

3 PDFファイルの仕様

Adobe Acrobat によって作成する際の設定を以下に示す。他のソフトウェアによる場合は、これに準じた設定を行う。印刷時にプリンタのプロパティから Adobe PDF 設定を開く(図1)。

- PDF 設定：高品質印刷
- Adobe PDF セキュリティ：なし
- Adobe PDF のページサイズ：A4
- 文書情報を追加：オフ
- システムのフォントのみ使用し、文書のフォントを使用しない：オフ

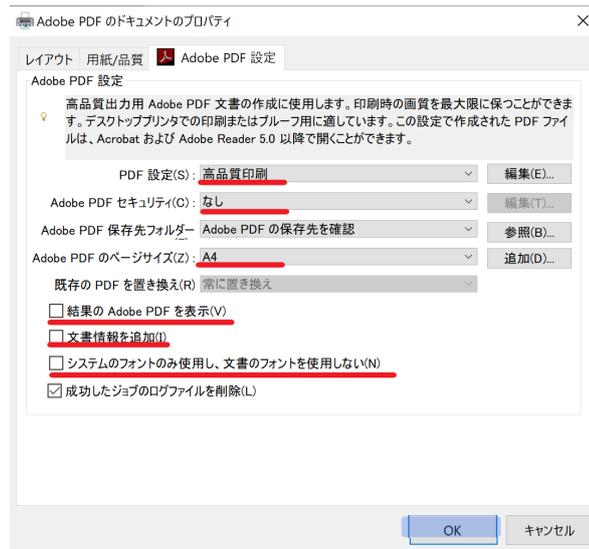


図1 プロパティ設定

標題紙の作成要領（論文が日本語の場合）

論文題目

(20 ポイント，中央揃え)

筑波大学

人間総合科学学術院人間総合科学研究群

情報学学位プログラム

20XX年X月

氏名

(16 ポイント，中央揃え，修了予定年月を表記，氏名は TWINS 登録の表記)

標題紙の作成要領（論文が英語の場合）

Title

(20 ポイント, 中央揃え)

Name

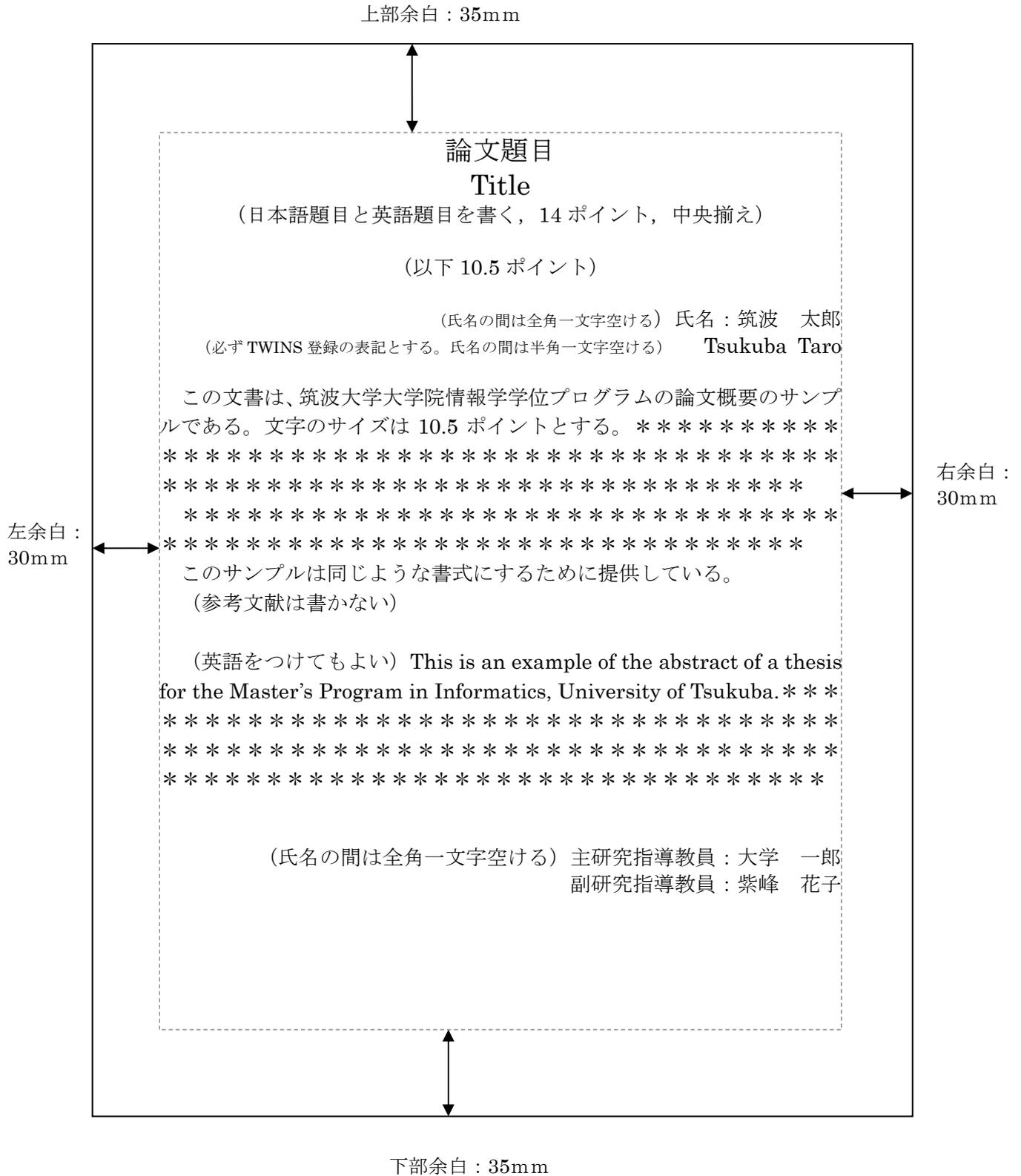
(16 ポイント, 中央揃え, 氏名は TWINS 登録の表記)

Master's Program in Informatics
Degree Programs in Comprehensive Human Sciences
Graduate School of Comprehensive Human Sciences
University of Tsukuba

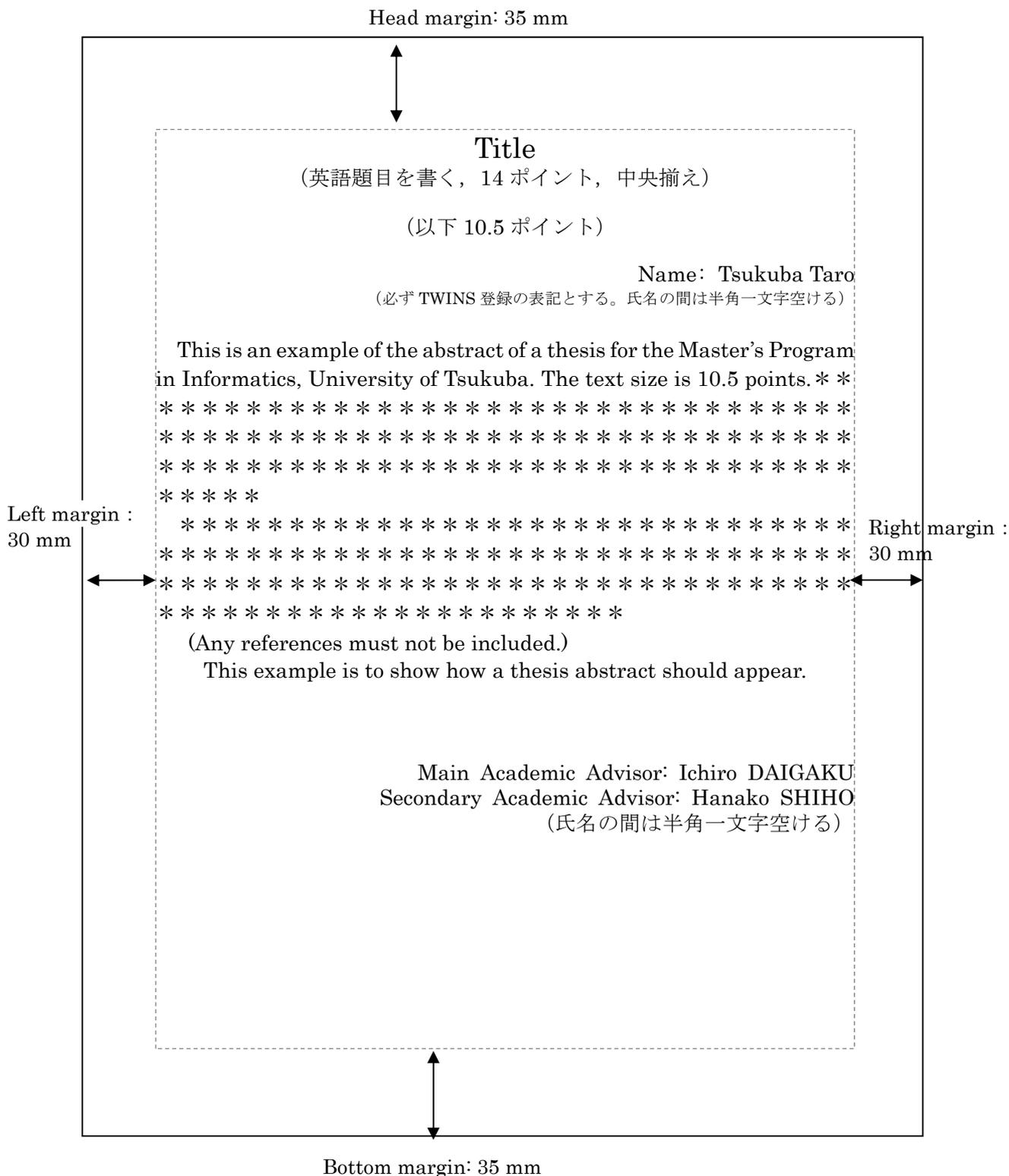
Month YYYY

(16 ポイント, 中央揃え, 修了予定年月を表記)

学位論文概要の作成要領（論文が日本語の場合）



1 ページにおさめること



1 ページにおさめること